

新宮山彦ぐるーぷ第2232回

### 行仙宿、連休の準備作業

◇実施日 4月28日(金) 晴

◇参加者

沖崎吉信、畑林秀味・清子、大江加予子。徳子、  
高階鈴子・美根子、生熊千満子、松本吉殖、青木  
宏充、坂田洋子、梶野照雄、瀧本昭太郎、佐藤優  
美子、大森洋、阪口雄二

16名

一週間前の雨で、連休の準備が直前の28日になってしまっ  
た。当日のお天気は快晴で、毛布干しや屋外の作業も支障なく  
行える。午前9時半、登山口に青木、坂田の二人以外の14名  
が集まった。モノレールに荷物を満載して終点に向かう。



荷物を満載



行仙宿に着く



第2ベンチで休憩

一旦行仙宿まで行って、青木、坂田の2名を迎えに登山口に

降りる。

午前11時、二人と食材などを積み込んで、再びモノレール終  
点に向かい行仙宿を目指す。



青木、坂田の二人



毛布干し



行仙岳北に杭を運ぶ

4月16日に青木、坂田の二人と一緒に来て、日本手拭を3  
00枚運び上げた。朽ちていた第2ベンチを新しくする作業後、  
行仙宿に到着すると先に着いているはずの二人の姿が見えない。  
暫くすると水場の方から鈴の音と話声が聞こえてきた。二人で  
水汲みに行ったようだ。  
昼食後二人は下山、午後はコンクリート板テーブルのベンチを  
新調する。以前のベンチは少し低かったので、5cm高さを上げ  
た。下山途中、第3ベンチの背もたれを外して支柱を後ろにず  
らした。4月20日に新調したベンチに木材保護材を塗り、第  
3ベンチの背もたれを固定した。



4 / 16



第2ベンチ更新



水汲みから戻る



手拭300枚



ベンチ新設



行仙宿に着くと、毛布はロープや屋根に干されていて、時間を置いて取り入れるだけになっていた。昼食後、4名が行仙岳北側まで段差補修用の資材を運ぶ。青木氏がストーブの周りに干し物が出るフェンスを作ってきたので、レンガに穴を開けて4カ所を固定した。



ストーブにフェンス



毛布を取り入れ



毛布を取り入れてロープなどを片付け、行仙岳班も帰ってきたので、お堂前で写真を撮って青木、坂田の二人を残して下山した。下山途中、朽ちた第2ベンチを撤去して新しいベンチを仮置きした。



本日の参加者



第2ベンチを据え付け



無事下山

(記・梶野)

行動タイム

09:30 補給路登山口↓10:13 行仙宿↓10:55 補給路登山口↓  
11:35 行仙宿 15:20↓15:33 第2ベンチ↓15:55 補給路登山  
口